

フリガナ		郵便番号	〒						性別	1.男 2.女
氏名		生年月日		1.明治 3.昭和	2.大正 4.平成		年	月	日	

1. 継続的な支援 実施結果(※初回面接は含みません)						
	実施年月日	支援形態 ※下記の注1を参照	実施者(職種) ※下記の注2を参照	実施時間 (分)	獲得ポイント	
					支援Aポイント	支援Bポイント
1回目	年 月 日	<input type="checkbox"/> 中間評価として実施	( )			
2回目	年 月 日	<input type="checkbox"/> 中間評価として実施	( )			
3回目	年 月 日	<input type="checkbox"/> 中間評価として実施	( )			
4回目	年 月 日	<input type="checkbox"/> 中間評価として実施	( )			
5回目	年 月 日	<input type="checkbox"/> 中間評価として実施	( )			
6回目	年 月 日	<input type="checkbox"/> 中間評価として実施	( )			
7回目	年 月 日	<input type="checkbox"/> 中間評価として実施	( )			
8回目	年 月 日	<input type="checkbox"/> 中間評価として実施	( )			
9回目	年 月 日	<input type="checkbox"/> 中間評価として実施	( )			
合計ポイント		合計(A+B)		P		

注1. 支援形態は「グループ」、「個別A」、「電話A」、「メールA」、「個別B」、「電話B」、「メールB」から選択して記入して下さい。

なお、中間評価として継続支援を行った場合は、四角内にチェックを付けて下さい。(※中間評価は実施必須です)

注2. 実施者の職種については、「1. 医師 2. 保健師 3. 管理栄養士 4. その他」から選択し、()内に番号を記入して下さい。

2. 中間評価 実施結果			
上記継続的な支援のうち、 ( )回目を中間評価として実施	継続的な支援のうち、いずれか1つを「中間評価」として実施し、下記の項目の確認を行わなければなりません。 (いつの継続支援を中間評価として実施しても構いませんが、一般的には開始してから3ヶ月後ぐらいが目安です) また、中間評価は継続的な支援Aとして実施すること。		
腹囲		収縮期血圧	
体重		拡張期血圧	
生活習慣の改善状況	栄養・食生活	0. 変化なし	1. 改善 2. 悪化
	身体活動	0. 変化なし	1. 改善 2. 悪化
	喫煙	1. 禁煙継続 2. 非継続	3. 非喫煙 4. 禁煙意志なし

## 3. 最終評価 実施結果

区分	1. 最終評価	2. 継続支援最終+最終評価	3. 途中終了
実施年月日	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日		
支援形態	1. 個別支援	2. グループ支援	3. 電話支援 4. 電子メール支援
実施時間	<input type="text"/> (分)		
実施者(責任者)	1. 医師 2. 保健師 3. 管理栄養士 4. その他	氏名	
ポイント	<input type="text"/> P ※継続支援の最終と同時実施した場合のみポイント記入		
腹囲	<input type="text"/> (cm)	収縮期血圧	<input type="text"/> (mmHg)
体重	<input type="text"/> (kg)	拡張期血圧	<input type="text"/> (mmHg)
生活習慣の改善状況	栄養・食生活	0. 変化なし	1. 改善 2. 悪化
	身体活動	0. 変化なし	1. 改善 2. 悪化
	喫煙	1. 禁煙継続 2. 非継続 3. 非喫煙 4. 禁煙意志なし	禁煙指導の実施回数 <input type="text"/> 回
評価できない場合の確認	電話 <input type="text"/> 回	e-mail <input type="text"/> 回	その他 <input type="text"/> 回
途中終了となった年月日	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日	計	<input type="text"/> 週間
備考 (メモ欄)			

実施機関情報 (ゴム印可)	実施機関名	
	実施機関コード	<input type="text"/>

積極的支援でのポイントの数え方【必要ポイント 180P(支援Aで160P以上、支援Bで20P以上)】  
 ※ただし平成25年度以降の利用券で受診の場合は、支援Aで180P以上のみでも可能

支援形態	基本的なポイント数		最低限の介入量	ポイントの上限
グループ支援	10分	10P	40分	120分以上実施しても120Pまで
個別支援A	5分	20P	10分	30分以上実施しても120Pまで
個別支援B	5分	10P	5分	10分以上実施しても20Pまで
電話A	5分	15P	5分	20分以上実施しても60Pまで
	※初回面接支援の際に使用した行動計画の実施状況について記載したものの提出を受けることが必要			
電話B	5分	10P	5分	10分以上実施しても20Pまで
メール A	1往復	40P	1往復	
	※初回面接支援の際に使用した行動計画の実施状況について記載したものの提出を受けることが必要 ※1往復とは一連のやりとりが完結するまで行ったことを意味する。			
メール B	1往復	5P	1往復	
	※1往復とは一連のやりとりが完結するまで行ったことを意味する。			